

令和8年度 評価規準

教科	音楽	学年	第1学年
----	----	----	------

学校名: 江戸川区立鹿骨中学校

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「校歌」 「光の道」 「サウンドオブミュージック」から「ドレミ」「エーデルワイス」	5	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要は発声、身体の使い方、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。 リズム、強弱、速度、旋律、テクニカを知識し、それらの働きがうみだす特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組む。	○知識 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ○技能 創意工夫を生かした表現で歌うために必要は発声、身体の使い方、各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。	リズム、速度、旋律、強弱、テクニカを知識し、それらの働きがうみだす特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫している。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。
日本語の抑揚を生かした旋律をつくる	3	音のつながり方の特徴について表したいイメージと関わらせて理解する。 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付ける。 リズム、旋律、構成を知覚し、それらの働きがうみだす特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、創作表現を創意工夫する。 音のつながり方の特徴を生かして旋律をつくることに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習に取り組む。	○知識 音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 ○技能 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けている。	リズム、旋律、構成を知覚し、それらの働きがうみだす特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、創作表現を創意工夫している。	音のつながり方の特徴を生かして旋律をつくることに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の活動に取り組もうとしている。
「春」第1楽章	3	曲想と音楽の構造やソネットとの関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史について理解する。 音色、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きがうみだす特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、「春」のよさや美しさを味わって聴く。 曲想と音楽の構造やソネットとの関わり、独奏ヴァイオリンと弦楽合奏の音色や響きに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の授業に取り組む。	○知識 曲想と音楽の構造やソネットとの関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史について理解している。 ○技能 創意工夫を生かした表現で歌うために必要は発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。	音色、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きがうみだす特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、「春」のよさや美しさを味わって聴いている。	曲想と音楽の構造やソネットとの関わり、独奏ヴァイオリンと弦楽合奏の音色や響きに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。
「夏の思い出」 「赤とんぼ」	3	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要は発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きがうみだす特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組む。	○知識 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ○技能 創意工夫を生かした表現で歌うために必要は発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。	リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きがうみだす特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫している。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。
全体の構成を考えながら音楽をつくる。	3	音楽材の特徴及び音の重なり方や反復、変換、対照などの構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解する。 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付ける。 音色、テクニカ、強弱、構成を知覚し、それらの働きがうみだす特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、創作表現を創意工夫する。 音楽材の特徴を生かして構成を工夫することに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習に取り組む。	○知識 言葉のリズムの反復や重なり方などの特徴を理解している。 ○技能 テーマに沿って言葉のリズムを感じ取りながら擬音語・擬声語などを選択する技能を身に付けている。	創作表現に関わる知識(言葉のリズムの反復や重なり方などの特徴)や技能(テーマに沿って言葉のリズムを感じ取りながら擬音語・擬声語などを選択する技能)を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫している。	創作活動に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
「魔王」(シューベルト)	3	曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 音色、旋律、テクニカを知覚し、それらの働きがうみだす特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、「魔王」のよさや美しさを味わって聴く。 曲想と音楽の構造との関わりや独唱の表現の豊かさに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の授業に取り組む。	○知識 曲想と音楽の構造との関わりを理解する。	音色、旋律、テクニカを知覚し、それらの働きがうみだす特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、「魔王」のよさや美しさを味わって聴く。	曲想と音楽の構造との関わりや独唱の表現の豊かさに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組む。

<p>「夢の翼」 「あの丘の向こうから」</p>	<p>4</p> <p>曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。 速度、旋律、強弱、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり、声部の役割と全体の響きとの関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組む。</p>	<p>○知識 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 ○技能 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。</p>	<p>速度、旋律、強弱、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。</p>	<p>曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり、声部の役割と全体の響きとの関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組む。</p>
<p>箏曲「六段の調」</p>	<p>2</p> <p>曲想と音楽の構造との関わりや箏曲の特徴とその背景となる文化や歴史について理解する。 音色、速度、旋律、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、「六段の調」のよさや美しさを味わって聴く。 曲想と音楽の構造との関わりや箏曲の特徴とその背景となる我が国の文化や歴史に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組む。</p>	<p>○知識 曲想と音楽の構造との関わりや箏曲の特徴とその背景となる文化や歴史について理解する。 ○技能 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。</p>	<p>音色、速度、旋律、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、「六段の調」のよさや美しさを味わって聴く。</p>	<p>曲想と音楽の構造との関わりや箏曲の特徴とその背景となる我が国の文化や歴史に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組む。</p>
<p>日本とアジアをつなぐ音楽「さくらさくら」</p>	<p>4</p> <p>箏の音色と奏法の関わりについて理解する。 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な右手の使い方や縦譜の読み方などの技能を身に付ける。 音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、器楽表現を創意工夫する。 箏の音色と奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習に取り組む。</p>	<p>○知識 箏の音色と奏法との関わりについて理解する。 ○技能 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な右手の使い方や縦譜の読み方などの技能を身に付ける。</p>	<p>音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、器楽表現を創意工夫する。</p>	<p>箏の音色と奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習に取り組む。</p>
<p>日本とアジアの声によるさまざまな表現</p>	<p>2</p> <p>さまざまな表現の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。 音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、よさや美しさを味わって聴く。 音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組む。</p>	<p>○知識 日本とアジアの声によるさまざまな表現の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。 ○技能 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な右手の使い方や縦譜の読み方などの技能を身に付ける。</p>	<p>日本とアジアの声によるさまざまな表現の音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、よさや美しさを味わって聴く。</p>	<p>日本とアジアの声によるさまざまな表現の音色、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、よさや美しさを味わって聴く。</p>
<p>「ソーラン節」 「かりほし切り歌」 「谷奈前」</p>	<p>2</p> <p>声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。 曲が生まれた拝啓や、声の音色、節回し、コブシ、囃子ことばなどの特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組む。</p>	<p>○知識 日本とアジアの声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。 ○技能 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。</p>	<p>音色、リズム、旋律、テクスチャ（音頭—同形式など）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。</p>	<p>民謡が生まれた背景や、声の音色、節回し、コブシ、囃子詞などの特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組む。</p>
<p>「明日を信じて」 「合唱祭クラス曲」</p>	<p>11</p> <p>曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。 旋律、強弱、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり、声部の役割と全体の響きとの関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組む。</p>	<p>○知識 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解する。 ○技能 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。</p>	<p>旋律、強弱、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことで感じたこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。</p>	<p>曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり、声部の役割と全体の響きとの関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組む。</p>